

令和 5 年度 国語 科 「文学国語」 シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 2 学年 A組～ G組
教科書	文学国語（数研出版）	副教材 等	現代新国語辞典（学研）

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する 資質・能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	・人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 ・作品の内容や解釈を踏まえ，人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を深めること。 など	文章の読解 平成の小説	無用の人	・重要語句意味調べ ・講義形式の一斉授業 ・ペアワーク，班活動	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
5		文章の読解 大正の小説	件	・重要語句意味調べ ・講義形式の一斉授業 ・ペアワーク，班活動	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
6		文章の読解 昭和初期の小説	水仙 中間考査	・重要語句意味調べ ・講義形式の一斉授業 ・ペアワーク，班活動	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
7			期末考査		
9	・作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉えるとともに，作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，作品の解釈を深めること。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方，表現の特色に	文章の読解 文学の扉	山月記	・重要語句意味調べ ・講義形式の一斉授業 ・ペアワーク，班活動	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
10		文章の読解 昭和中期の小説	野火 中間考査	・重要語句意味調べ ・講義形式の一斉授業 ・ペアワーク，班活動	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析

11	ついて評価することを通して、内容を解釈すること。 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 など	文章の読解	ころ	・重要語句意味調べ ・講義形式の一斉授業 ・ペアワーク、班活動	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
12		文章の読解	永訣の朝	・重要語句意味調べ ・講義形式の一斉授業 ・ペアワーク、班活動	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
		詩歌	期末考査		
1	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。 など	文章の読解	掟の門前	・重要語句意味調べ ・講義形式の一斉授業 ・ペアワーク、班活動	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
2		海外の小説			
3		文章の読解	物語のおわり	・重要語句意味調べ ・講義形式の一斉授業 ・ペアワーク、班活動	行動の観察・確認・分析 記述の点検・確認・分析
		文学的文章の創作	学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	・知識及び技能の習得状況 ・他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念などを理解したり、技能を習得したりしているか。
思考・判断・表現	書くこと、読むことを通じて、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身につけているか。
主体的に学習に取り組む態度	自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面。

4 評価の方法

ペーパーテスト、論述やレポートの作成、発表・グループでの話し合い、活動の記録を通して、「行動の観察」「記述の点検」「行動の確認」「記述の確認」「行動の分析」「記述の分析」の到達度を元に、3観点で総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

今年度からの新しい科目です。特に大きな変更点として、「書くこと」の時間が大幅に増えています。自分の考えを、適切な言葉を使って、相手にわかりやすく伝える文章力が求められます。そのためには自分自身の語彙力や表現力が必要不可欠です。わからない言葉はどんどん辞書を用いて検索しましょう。教材を通じて表現方法を知りましょう。

わからないことは恥ずかしいことではありません。授業内に解決できなかった部分は担当者や友達に聞き、先延ばしにしないことが大切です。

また、「どのように学習に取り組むか」という点も重視します。自分の学習状況をきちんと理解して学習の進め方の調整ができるようになりましょう。

令和5年度 国語科「言語文化」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～G組
教科書	高等学校 言語文化(数研出版)	副教材等	国語便覧(数研出版)漢字ボックス(浜島書店) 古典文法要点整理ノート(数研出版)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3)言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	平安宮廷文学の世界	『枕草子』 「春はあけぼの」 「ありがたきもの」	・古文の読解を通して、作者のものの見方や考え方を理解する。 ・文語のきまりを理解する ・〈言語活動〉班学習 自分の意見を発表する。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
5	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	故事と成語	『朝三暮四』 中間考査	・訓読のきまりを理解する。 ・漢文の読解を通して、故事成語の由来を理解する。 ・〈言語活動〉班学習による教え合い 故事成語を辞書などで調べ、本来の意味、転義を学び、それを他の班で教える。 教科書p74～77, 130～131	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
6	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方に工夫をしている。	和歌による心の交流	『伊勢物語』 「筒井筒」	・古文の読解を通して、我が国の言語文化に特徴的な表現について理解する。 ・文語のきまりを理解する。 ・〈言語活動〉班学習	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
7	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文化的背景について理解を深め。文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	現代にも生きる教え 読み継がれる歴史	『徒然草』 「つれづれなるまに」 『先従隗始』 期末考査	・古文の読解を通して、作者のものの見方や考え方を理解する。 ・文語のきまりを理解する ・〈言語活動〉班学習 自分の意見を発表する。 ・入門で学習した諸事項を確かめながら応用力を養成する。 ・個人の能力や創造性を尊重する価値観の普遍性について考察する。 ・〈言語活動〉班学習 郭隗の巧みさを話し合う。 教科書p68～72, 50～51, 138～139	行動観察 ワークシート分析 読解の確認 行動観察 ワークシート分析 読解の確認
9	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	漢詩の言葉	『漢詩』	・漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩の読解を通して、作者のものの見方や感じ方を理解する。 ・〈言語活動〉班学習による訳詩作り 日本の作家や歌人による訳詩を参考にして、漢詩の訳詩を作り発表し合う。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
10	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	仮名日記文学の原点	『土佐日記』 「門出」 中間考査	・日記文学を読み、女性に仮託して執筆した理由や当時の航行の困難さについて理解する。 ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 教科書p146～151, 84～85	行動観察 ワークシート分析 読解の確認

11	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	読み継がれる歴史	『鶏口牛後』	・史伝教材の特性を活かす形で、文章の成立した背景を踏まえた読解力を身につける。 ・個人の能力や創造性を尊重する価値観の普遍性について考察する。 ・〈言語活動〉班学習 蘇秦の巧みさを話し合う。	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
12	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	戦乱下の人間像	『平家物語』 「木曾の最期」 漢字学習(授業内) 期末考査	・軍記物を読み、人物の思想や感情を的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 ・〈言語活動〉班学習による教え合い。 登場人物の愛情の差異を理解し話し合う。 ・副教材を活用しながら、読み・書きに留まらず、漢字のもつ意味・構成などを学ぶ。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 教科書p140～142, 92～98	行動観察 ワークシート分析 読解の確認
1 2 3	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	詩歌の系譜 論語とその解釈	『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』 『論語』 期末考査	・伝統的な我が国の言語文化を理解する。 ・〈言語活動〉班学習 創作を行い、互いに鑑賞する。 ・漢文の読解を通して、古人の主張を理解する。 ・〈言語活動〉班学習 「孔子が現代の政治家であったなら、その政治思想を支持するか」という論題で意見文を書き、班で発表し合う。 教科書p68～73, 158～166, 276～284	行動観察 ワークシート分析 読解の確認 行動観察 ワークシート分析 読解の確認

3 評価の観点

知識・技能	ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。
思考・判断・表現	【書く能力】ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方に工夫をしている。 【読む能力(古典)】ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。
主体的に学習に取り組む態度	ア 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。イ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。ウ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から評価規準に従い、総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

この科目では、様々な文章に触れながら、1年間の学習を通して学習到達目標を達成します。担当者からの指示や説明などをよく聞いて、積極的かつ意欲的に授業に参加して下さい。評価については3つの観点で行います。普段の授業の1時間1時間を大切にして下さい。なお、授業だけでなく、活字に触れることが国語の力を向上させるには不可欠です。できるかぎり多くの文章に触れるようにしましょう。

令和5年度 地歴公民科 「歴史総合」 シラバス

単位数	3	学科・学年・学級	普通科 2学年 A～G組
教科書	「私たちの歴史総合」	副教材等	

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵(かん)養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	〔第1編 歴史の扉〕 〔第2編 近代化と私たち〕	第1章 歴史と私たち 日本とスポーツの歴史 第2章 歴史の特質と資料 8月15日と「終戦」	・諸資料を活用して、私たちが日常的に見たり行ったりしているスポーツと近代化、大衆化、日本と世界の歴史がつながっていることを理解する。 ・遺物、文書、画像などの資料を活用し、1945年8月15日の「終戦」の持つ意味や意義、特色等を考察、表現し歴史が資料に基づいて叙述されていることを理解する。	ワークシート・諸資料 討論・発表 ワークシート・諸資料 討論・発表
	5		第1章 生活や社会の変化を読み取ってみよう 第2章 結びつく世界と日本 (1) 18世紀までの世界の形成 (2) 工業化と世界市場の形成 中間考査	・明治日本の経済、産業、権利意識と政治参加や国民の義務などに関する資料を活用し、課題を追究、解決する活動を通して、近代化に関する問いを表現する。 ・18世紀の流通などを基に、歴史的な見方・考え方をもちながら、18世紀の経済などを多面的・多角的に考察し、表現しつつ、18世紀の経済と社会を理解する。 ・産業革命と日本の開国などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	ワークシート・諸資料 討論・発表 ワークシート・小テスト 討論・発表 ワークシート・小テスト 討論・発表
	6		第3章 国民国家と明治維新 (1) 国民国家と立憲体制 ・二つの市民革命と近代民主主義社会の成立 ・国民統合とナショナリズム (2) 帝国主義とアジア、アフリカの変容 ・列強による帝国主義 ・日清、日露戦争	・18世紀後半以降の欧米の市民革命、日本の明治維新や大日本帝国憲法制定などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、国民国家の特徴や社会の変容等を多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	ワークシート・諸資料 討論・発表
	7		第4章 近代化と現代的な諸課題 鉄道建設 期末考査	・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・平等と格差の観点から、鉄道建設と近代化を主題に設定し、諸資料を活用して追究したり解決したりする活動を通して、主題について多面的・多角的に考察、表現し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	ワークシート・小テスト 討論・発表 ワークシート・小テスト 討論・発表
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	〔第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち〕	第1章 生活や社会の変化を読み取ってみよう 第2章 第一次世界大戦と大衆社会 (1) 第一次世界大戦と国際社会	・米ソの台頭、植民地の独立などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、国際秩序の変化や大衆化に関する問いを表現する。 ・第一次大戦の展開、ソ連の成立と米国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命、第一次大戦後の国際体制の特徴などを、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際体制を理解する。	ワークシート・諸資料 討論・発表 ワークシート・小テスト 討論・発表
	10		(2) 1920年代の世界と大衆の時代の到来 第3章 経済危機と第二次世界大戦 (1) 国際協調の挫折と2度目の世界大戦	・大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及を基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、第一次世界大戦後の社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ・世界恐慌、ファシズム、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の変遷を理解する。	ワークシート・小テスト 討論・発表 ワークシート・小テスト 討論・発表

第2学期	10		・世界恐慌 ・第二次世界大戦 中間考査	動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺や第二次世界大戦の勃発の背景に関する事柄を理解する。	ワークシート・小テスト 討論・発表
	11		(2) 世界大戦がもたらしたもの ・アジア太平洋戦争 ・戦後世界の新たな枠組み ・敗戦後の日本とアジア ・冷戦下の東アジア 第4章 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ナショナリズム	・アジア太平洋戦争の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦、日本国憲法制定、平和条約と日本の独立の回復等を基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、第二次世界大戦の惨禍、大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察し、表現することを通して、大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・統合と分化の観点から、ナショナリズムと国際秩序の変化を主題に設定し、諸資料を活用して追究・解決する活動を通して、主題について多面的・多角的に考察、表現し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	ワークシート・小テスト 討論・発表 ワークシート・諸資料 討論・発表
	12	[第4編 グローバル化と私たち]	第1章 生活や社会の変化を読み取ってみよう 期末考査	・”多国籍軍”のサッカーチーム、高度情報通信、多民族共存、資源・エネルギーと地球環境等に関する資料を活用し、課題を追究・解決する活動を通して、グローバル化に関する問いを表現する。	ワークシート・諸資料 討論・発表
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		第2章 冷戦と世界経済 (1) 冷戦と国際政治 (2) 世界経済の拡大と日本 第3章 世界秩序の変容と日本 (1) 市場経済の変容と冷戦の終結	・冷戦期の軍備拡張を基に、歴史的な見方・考え方を活用し、欧米やソ連の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察・表現し、国際政治の変容を理解する。 ・日本の高度経済成長等を基に、歴史的な見方・考え方を活用し、冷戦下の世界経済等を多面的・多角的に考察・表現し、世界経済の拡大と経済成長下の日本を理解する。 ・石油危機、冷戦終結などを基に、歴史的な見方・考え方を活用し、市場経済のグローバル化等を多面的・多角的に考察・表現し、市場経済の変容と課題を理解する。	ワークシート・小テスト 討論・発表 ワークシート・小テスト 討論・発表 ワークシート・小テスト 討論・発表
	2		(2) 冷戦終結後の世界	・民主化の進展、地域統合の拡大と変容、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	ワークシート・小テスト 討論・発表 ワークシート・諸資料 討論・発表
	3		第4章 現代的な諸課題の形成と展望 移民 学年末考査	・歴史総合の学習の総括として、持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して、主題について多面的・多角的に考察、構想、表現し、歴史的経緯を踏まえて現代的な諸課題を理解する。	

3 評価の観点

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

授業に参加するに当たっては、ぜひ、意欲を持って望んでください。授業に対する準備はもちろん、授業内容が多少難しくても「わかろうとする気持ち」が大切です。歴史は人が創り出してきた軌跡です。必ず理解することが出来ます。これから社会に出て行く高校生にとって、過去を知ることが未来に生きていくときの判断材料の一つになるに違いありません。頑張って良い授業を創りましょう。

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～G組
教科書	数学ⅡEssence（東京書籍）	副教材等	CATCH 数学Ⅱ（東京書籍）

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1章 方程式・式と証明	1節 多項式・分式式の計算 1 3次の乗法公式と因数分解 2 二項定理 3 分式式とその計算	・3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、それらを用いて計算することができる。 ・パスカルの三角形と $[(a+b)]^n$ の展開式における各項の係数について考察し、二項定理を用いて、式を展開することができる。	定期考査 行動観察
	5		2節 2次方程式 1 複素数 2 2次方程式 3 解と係数の関係 4 2次関数のグラフと2次方程式 3節 高次方程式 1 多項式の除法 2 因数定理 中間考査	・虚数、複素数について理解し、数を拡張することに興味をもつ。さらに、複素数の計算ができる。 ・2次方程式の解と係数の関係について理解し、与えられた2数を解とする2次方程式を求めることができる。 ・剰余の定理と因数定理について理解し、多項式の除法や因数分解に関して、それらを利用することができる。	定期考査 ワークシート
	6		3 高次方程式 4 高次方程式の利用 4節 式と証明 1 等式の証明 2 不等式の証明	・高次方程式について理解し、因数分解、因数定理を用いて、高次方程式を解くことができる。 ・左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考力を養う。	定期考査 ワークシート
	7	2章 図形と方程式	1節 座標と直線の方程式 1 座標と2点間の距離 内分点・外分点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 期末考査	・数直線上の2点間の距離を求めることができる。また、座標平面について理解し、平面上の2点間の距離を求めることができる。 ・直線の傾きと切片について理解し、1点と傾きや、2点が与えられたときの直線の方程式を求めることができる。 ・2直線の交点の座標が方程式を連立して求められることを理解する。	定期考査 行動観察
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9		2節 円の方程式 1 円の方程式 2 円と直線 3節 軌跡と領域 1 軌跡 2 不等式の表す領域 3 連立不等式の表す領域	・与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から円の中心の座標と半径を求めたりすることができる。 ・円と直線の共有点の座標を求めることができる。また、円と直線の共有点の個数について、2次方程式の判別式の符号と対応していることを理解する。 ・軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡の方程式を求めることができる。 ・不等式が表す領域を図示したり、領域を不等式に表したりすることができる。	定期考査 行動観察
	10	3章 三角関数	1節 三角関数 1 一般角 2 弧度法 3 三角関数 4 三角関数の相互関係 5 三角関数の性質 6 三角関数のグラフ 7 三角関数を含む方程式 2節 加法定理 1 加法定理 2 2倍角の公式 3 三角関数の合成 中間考査	・角の概念を一般角まで拡張することについて理解する。 ・弧度法の意味を理解し、弧度法による扇形の弧の長さや面積を求めることができる。 ・三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。 ・一般角の三角関数の相互関係が成り立つことを理解する。 ・三角関数のグラフの性質を理解し、そのグラフをかくことができる。 ・三角関数の加法定理を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。 ・2倍角の公式を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。 ・三角関数の合成を理解し、それらを用いて三角関数を合成することができる。	定期考査 行動観察

	11	4 章 指数関数と対数関数	1 節 指数関数 1 指数の拡張 2 累乗根 3 指数関数とそのグラフ 4 指数関数の利用 2 節 対数関数 1 対数 2 対数の性質 3 対数関数とそのグラフ	・指数を整数へ拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて、計算することができる。 ・累乗根の意味を理解し、計算することができる。 ・指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。また、指数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ・対数の意味を理解し、対数の値を求めることができる。また、対数の性質を理解し、それを用いて対数の計算をすることができる。 ・対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。 ・常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、それらを用いて、整数の累乗の桁数を求めることができる。	定期考査 行動観察 定期考査 ワークシート
	12		4 常用対数 5 対数関数の利用 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	5 章 微分と積分	1 節 微分係数と導関数 1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 2 節 導関数の応用 1 接線の方程式 2 関数の増加・減少 3 関数の極大・極小 4 関数の最大・最小 5 方程式への応用 3 節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積 学年末考査	・関数の平均変化率が、曲線上の2点を通る直線の傾きに等しいことを理解し、平均変化率を求めることができる。 ・極限值や微分係数の意味を理解し、微分係数を定義に基づいて求めることができる。また、微分係数を利用して、接線の傾きを求めることができる。 ・導関数の意味を理解し、導関数の計算ができる。また、導関数を利用して、微分係数を求めることができる。 ・曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。 ・導関数の符号を利用して、関数の増減を調べることができる。 ・ある定義域における関数の最大値・最小値を、増減を調べることによって求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。 ・不定積分の意味を理解し、公式を用いて不定積分を求めることができる。 ・定積分の意味を理解し、公式を用いて定積分を求めることができる。 ・定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。	定期考査 ワークシート 定期考査 行動観察 定期考査 行動観察
	2				
	3				

3 評価の観点

知識・技能	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

数学はいろいろな表現方法をとおして、理論的な道筋をたどる遠足のようなものです。道に迷ったら、分かるところまで戻って、もう一度地図（教科書）をみれば、行き先がどちらかが分かります。道先案内人（教師や友達）に尋ねてくれてもOKです。大事なのはすぐにあきらめず時間をかけて、落ち着いて取り組むことです。数学は時間さえかければ必ず解決する教科です。目的地に着いた時の喜びもひとしお、我々と一緒にいろんな旅にかけましょう。 数学の授業では、問題が解けるようになることも大切ですが、話を聞く態度や積極的に授業に取り組むという姿勢が重要です。難しい問題が今後たくさん出てくるかもしれませんが、真正面から向き合い、一つひとつ乗り越えていきましょう。
--

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・2年AB組（選択）
教科書	新編 物理基礎	副教材等	なし

1 学習の到達目標

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界	1 速度	・身近な物体の運動と力の関係について概略を知る。 ・物体の運動の様子の表し方を知る。 ・位置、変位、速度、加速度と移動距離、速さを学び、グラフによって時刻との関係を理解する。	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析
			2 加速度	・等加速度運動の関係式を用いて各諸量を求める。 ・〈実験〉斜面を滑り落ちる力学台車の運動	小テスト 実験レポート分析
			3 落体の運動	・落下する物体の運動状態（自由落下、鉛直投射、水平投射、斜方投射）を求める。	ワークシート分析
	5		中間考査		
	6	2章 運動の法則	1 力とそのはたらき	・重力、垂直抗力（抗力）、摩擦力、張力、弾性力の性質を学ぶ。	行動観察 ワークシート分析
			2 力のつり合い	・2力、3力のつり合いについて学ぶ。	ワークシート分析
第2学期	7		3 運動の法則	・〈実験〉作用反作用に関する実験 ・力が、加速度および質量とどのような関係にあるかを学ぶ。 ・運動の三法則を学ぶ。	実験レポート分析 小テスト 行動観察
			4 日常に潜む力	・静止摩擦力とその最大値である最大摩擦力、動摩擦力について学ぶ。 ・〈実験〉垂直抗力と摩擦力の実験 ・圧力、浮力、空気の抵抗について学ぶ。	行動観察 ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析
			期末考査		
	9	3章 力学的エネルギー	1 仕事	・仕事の定義について学ぶ。 ・仕事の原理や仕事と仕事率および速度との関係を学ぶ。 ・〈実験〉階段をかけ上がるときの仕事率	ワークシート分析 ワークシート分析 実験レポート分析
	10		2 運動エネルギー	・エネルギーの定義について学ぶ。 ・運動エネルギーの式を学ぶ。 ・運動エネルギーの変化が物体にされた仕事に等しいことを学ぶ。	ワークシート分析 小テスト ワークシート分析
			3 位置エネルギー	・重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーについて学ぶ。	ワークシート分析
			4 力学的エネルギーの保存	・力学的エネルギー保存則について学ぶ。 ・保存力以外の力が仕事をする場合の、力学的エネルギーの変化と仕事の関係について学ぶ。	小テスト ワークシート分析
			中間考査		
	11	2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	1 熱と熱量	・熱や温度の概要を学ぶ。 ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量について学ぶ。	行動観察 ワークシート分析 小テスト
			2 熱と物質の状態	・熱量保存の法則について学ぶ。 ・物質の三態や熱膨張について学ぶ。 ・ジュールの実験について学ぶ。	小テスト ワークシート分析 ワークシート分析

第2学期	12	2章 波	3 熱と仕事	・熱力学第一法則について学ぶ。	ワークシート分析
			4 不可逆変化と熱機関	・不可逆変化について学ぶ。 ・熱機関と熱効率について学ぶ。	ワークシート分析 ワークシート分析
第3学期	1	3章 電気	1 波と媒質の運動	・波とは何か、波の発生と伝わり方について学ぶ。 ・〈実験〉ウェーブマシンによる波の観察	行動観察 実験レポート分析
			2 波の伝わり方	・波長や周期、振動数などの波の要素について学び、基本的な関係式を理解する。 ・波には、横波と縦波があることを知る。 ・波の独立性と重ね合わせの原理について学ぶ。 ・定常波や波の反射について観察や作図を通して学び、定常波や波の反射が生じる仕組みについて理解する。	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
			期末考查		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	3章 電気	3 音の性質	・身近な音の現象を知る。 ・音の伝わり方について学ぶ。 ・音の三要素や超音波の利用などについて知る。	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析
			4 発音体の振動と共振・共鳴	・うなりについて学ぶ。 ・共振、共鳴について学ぶ。	ワークシート分析 ワークシート分析
			1 電気の性質	・〈演示実験〉静電気実験 ・帯電の仕組みについて理解する。	行動観察 ワークシート分析
			2 電流と電気抵抗 3 電気とエネルギー	・オームの法則について理解する。 ・ジュール熱や電力について理解する。	ワークシート分析 ワークシート分析
第3学期	2	4章 エネルギーとその利用	4 交流 5 電磁波	・交流発生の仕組みと、電圧や電流の最大値と実効値の関係、変圧器について理解する。 ・電磁波の種類や用途を理解する。	ワークシート分析
			1 エネルギーの移り変わり 2 エネルギー資源と発電 学年末考查	・エネルギー変換について理解する。 ・エネルギー資源と発電の基本について理解する。	ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察

3 評価の観点

知識・技能	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

実験を行う中で様々な物理現象をまずは感覚的に掴んでほしいと思います。その後、物理の世界では現象を数値化していくことが基本の流れになります。公式を丸暗記するのではなく、その公式の意味を読み取れるようにしましょう。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～G組
教科書	新生物基礎（第一学習社）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性	①生物にみられる共通性 ②生物の共通性の由来 ③細胞構造の共通性	・地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。現生物の共通祖先について、推測される特徴を理解する。 ・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。	授業態度、 発問評価、 定期考査、 小テスト、 実験レポート
	5	2. 生物とエネルギー	①エネルギーと代謝 ②代謝とATP ③代謝と酵素 ④光合成と呼吸	・酵素の基本的な特徴について理解する。 ・光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつくられる過程であることを理解する。	
			中間考査		
第2学期	6	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝情報とDNA	①染色体・DNA・遺伝子 ②DNAの構造 ③DNAの複製 ④DNAの分配	・生体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。 ・DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ（転写）、これがアミノ酸配列に置き換えられる（翻訳）という流れを理解する。遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。	授業態度、 発問評価、 定期考査、 小テスト、 実験レポート
	7	2. 遺伝情報とタンパク質の合成	①タンパク質の構造と働き ②遺伝子の発現とタンパク質合成（1） ③遺伝子の発現とタンパク質合成（2） ④細胞と遺伝子の働き	・遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。全遺伝子が常に発現しているのではなく、細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。	
			期末考査		
第2学期	9	第3章 ヒトのからだの調節 1. からだの調節と情報の伝達	①恒常性と情報の伝達 ②神経系 ③自律神経系の働き ④ホルモンの働き ⑤血糖濃度の調節 ⑥体温の調節 ⑦からだの調節と血液の働き	・恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 ・自律神経系には交感神経と副交感神経があり、これらが拮抗的に働くことによって体内環境を調節していることを理解する。 ・内分泌系による体内環境の調節の特徴について理解する。 ・内分泌系と自律神経系によって血糖濃度が調節されるしくみについて理解する。 ・体温調節のしくみについて理解する。	授業態度、 発問評価、 定期考査、 小テスト、 実験レポート
	10		中間考査		
	11	2. 免疫	①病原体からからだを守るしくみ ②自然免疫 ③獲得免疫のしくみ ④獲得免疫の特徴 ⑤免疫と疾病 ⑥免疫と医療	・皮膚や粘膜による生体防御について理解する。免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。 ・自然免疫のしくみを理解する。 ・獲得免疫は自然免疫によって誘導されることを理解する。獲得免疫による病原体排除の流れを理解する。 ・抗体の特徴について理解する。獲得免疫が病原体にのみ反応を起こすしくみを理解する。 ・アレルギーや自己免疫疾患、エイズなど身近な免疫に関する疾患の生じるしくみを理解する。 ・拒絶反応や予防接種、血清療法のしくみを理解する。また、近年では抗体医薬が用いられていることを理解する。	
	12		期末考査		授業態度、 発問評価、 定期考査、 小テスト、 実験レポート

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第4章 生物の多様性と生態系 1. 植生と遷移	①さまざまな植生 ②植物と環境 ③植生の遷移と環境 ④植生の破壊と遷移 ⑤遷移とバイオーム ⑥日本のバイオームと気候	・植生は、相観によって森林・草原・荒原に大別されることを理解する。森林には階層構造がみられ、階層によって光などの環境が異なることを理解する。 ・光の強さと光合成速度の関係を、グラフを通じて理解する。陽生植物と陰生植物の光合成速度を理解する。 ・植生は不変ではなく遷移していることを理解する。 ・バイオームの概念を理解し、陸上にはその地域に生育する植物を基盤としたさまざまなバイオームが成立することを理解する。現存するバイオームと、その地域における気温や降水量の分布を対応させた資料から、環境条件によって、遷移の結果として森林や草原、荒原など多様なバイオームがみられることを理解する。 ・地球上には、それぞれの場所に適応した植物が生育し、いろいろなバイオームが成立していることを理解する。 ・日本におけるバイオームの水平分布と垂直分布を理解し、各バイオームの特徴的な植物種を理解する。	授業態度、 発問評価、 定期考査、 小テスト、 実験レポート
	2				
	3				
			学年末考査		

3 評価の観点

a. 知識・技能	生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けたか。 ・学んだ内容が関連付けて整理され定着しているか。 ・知識を用いて発展的な応用ができるか。 ・操作の意味をよく理解し、実技のレベルが的確であるか。
b. 思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けたか。 ・授業内容について科学的な捉え方ができるか。 ・発展的な内容についても思考を展開させられるか。 ・実験結果に対する考察が十分であり、その内容を適切に伝達できるか。
c. 主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けているか。 ・講義形式、実験形式いずれの授業においても集中力を保つ。 ・授業で得た結果を基に発展的な興味をもって自主的活動を行う。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

・授業の準備（教科書・ノート・筆記具）を忘れずに、毎時間の出席が大切です。 ・特に、授業では毎時間、板書をノートにしっかり書くこと。欠席した授業のノートは、クラス内の友人に借りて、写しておくこと。 ・定期考査前には、よく復習すること。提出物は期限を守り、未提出課題がないようにすること。 ・実験器具は大切に扱うこと（壊したら基本的に自費での弁償です。顕微鏡の反射鏡1つで5千円します）。
--

令和5年度 理科 「地学基礎」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・2年・A～G組（選択）
教科書	高等学校 地学基礎（数件出版）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1編 活動する地球	1 地球の形と大きさ	・地球の形や大きさについて、昔の人がどのように考え、求めていったのかを学ぶ。	・授業への参加状況 出席状況 ・授業に取り組む態度 ・発問に対する解答 考えているか 論理的か ・提出物や作業など 完成されているか 丁寧か ・ノート、プリント ・定期考査
	5	第1章 地球の構造	2 地球の構造	・地球の内部構造をどのように調べ、どのようになっていると理解されているかを学ぶ。	
			中間考査		
	6	第2章 プレートの運動	1 プレートテクトニクスと地殻変動	・プレートの運動や構造について理解し、プレート境界における造山運動について学ぶ。	
			2 プレート運動のしかた	・プレートの運動と地震発生との関連を理解し、日本付近における地震の特徴を考察する。	
		第3章 地震	1 地震	・地震に関する基礎事項を理解し、地震によってわかることを学ぶ。	
			2 地震の分布	・プレート境界と地震の分布の関係を理解する。	
			3 地震災害	・地震災害が発生しやすい場所や条件の特徴を理解する。	
		第4章 火山	1 火山活動	・マグマの性質を理解し、火山の形や噴火形式などを考察する。	
	7		2 火成岩	・火成岩および火成岩をつくる鉱物について、化学的構造を含め学ぶ。	
			3 火山がもたらす恵みと災害	・火山がもたらす恵みや災害を理解する。	
			期末考査	・火山災害に対する予測や防災の取り組みはどのように行われているか理解する。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第2編 移り変わる地球	1 堆積作用と堆積岩	・堆積作用によって形成される地形や、堆積岩の形成過程について理解する。	・授業への参加状況 出席状況 ・授業に取り組む態度 ・発問に対する解答 考えているか 論理的か ・提出物や作業など 完成されているか 丁寧か ・ノート、プリント ・定期考査
		第1章 地層の形成	2 地層の形成	・地層の形成過程について理解する。 ・堆積構造から読み取れる情報について理解する。	
		第2章 古生物の変遷と地球環境	1 化石と地質年代の区分	・化石からわかる地球の歴史について理解する。 ・地球の歴史はどのように区分されているかを理解する。	
	10		2 古生物の変遷	・生物の進化と古生物の変遷について理解する。 ・古生物の変遷と地球環境の変化にはどのような関係があるか理解する。	
			中間考査		

第2学期	11	第3編大気と海洋 第1章 地球の熱収支	1 大気の構造 2 地球全体の熱収支	- 大気の層構造とそれぞれの層の特徴を理解する。 - 雲ができる仕組みを理解する。 - 地球全体の熱収支について理解する。 - 温室効果のしくみを理解する。	- 授業への参加状況出席状況 - 授業に取り組む態度
	12	第2章 大気と海水の運動 第4編地球の環境 第1章地球の環境と日本の自然環境	1 大気の大循環 2 海水の運動 3 日本の天気と気象災害 1 気候の自然変動 2 人間活動による環境変化 3 日本の自然環境 期末考査	- 大気の大循環が生じるしくみを理解する。 - 温帯低気圧がはたしている役割を理解する - 海流が生じる原因を理解する。 - 深層をめぐる循環が生じるしくみを理解する。 - 季節ごとの日本の天気の特徴を理解する。 - 日本における気象災害の特徴を理解する。 - エルニーニョが起こるしくみを理解する。 - 火山噴火が気候に及ぼす影響を理解する。 - 人間活動によりさまざまな環境変化が起こるしくみと、その影響や対策について理解する。 - 地球環境システムについて理解する。 - 地形や資源に関する日本の特徴を理解する。 - 地震や火山噴火、大雨に伴う土砂災害とその対策について理解する。	- 発問に対する解答考えているか論理的か - 提出物や作業など完成されているか丁寧か - ノート、プリント - 定期考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5編 太陽系と宇宙 第1章 太陽系と太陽	1 太陽系の天体 2 太陽	8つの惑星の特徴と、地球型惑星と木星型惑星の違いを理解する。 - 惑星以外の太陽系の天体について知る。 - 太陽に見られる構造を理解する。 - 太陽のエネルギー源を理解する。	- 授業への参加状況出席状況 - 授業に取り組む態度 - 発問に対する解答考えているか論理的か
	2	第2章 宇宙の誕生	3 太陽系の誕生と現在の地球 1 宇宙の誕生	- 惑星の形成過程と内部構造を理解する。 - なぜ地球が生命を生み出すことができたのか、その条件を理解する。 - 銀河系の構造と太陽系の位置を理解する。 - 宇宙の誕生から現在までに起こった出来事を理解する。	- 提出物や作業など完成されているか丁寧か - ノート、プリント
	3		学年末考査		定期考査

3 評価の観点

知識・技能	- 観察などを通して地学的な事物や現象に関する基本的な概念や原理、法則を理解し、知識を身につけている。 - 地学的な事物や現象に関する観察の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につけ、観察の過程や結果およびそこから導き出した自分の考えを的確に表現することができる。
思考・判断・表現	地学的な事物や現象の中に問題を見だし、観察を行うとともに、事象を実証的、論理的に考え、分析をし、総合的に考察して問題を解決し、この科学的に判断した考察を言語活動を通じて表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	地学的な事物や現象に関心や興味をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的思考態度を身につけている。

4 評価の方法

・上記3『評価の観点』に示した、『知識・技能』、『思考・判断・表現』、『主体的に学習に取り組む態度』の3観点に基づき総合的に評価をする。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- 高校の地学では、地球と宇宙を扱います。太古の我々の祖先から、地球の上で生活をし、地球が育んできた恵みを受け、また利用し生きてきました。特に現代社会において、地球から取り出した恩恵＝資源の利用する量は膨大なものとなっています。 - 一方では、地震や火山噴火、気象災害など、我々の生活にとって非常に不都合な地球事象にもたびたび遭遇し、いかにこれら災害から逃れるかという問題も重要視されてきています。 - また、先人達は宇宙に思いを馳せ、神話や天体の運動など、その時々で科学界をリードしてきました。2015年にニュートリノ 振動の発見でノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章氏や、2008年に小林益川理論とCP対称性の破れの貢献で受賞した南部陽一郎、小林誠、益川敏英の3氏、2002年に素粒子ニュートリノ天文学で受賞した小柴昌俊氏も現代宇宙論と深く関わっています。 - 自然は、何もしゃべりません。我々が関心を持って注意深くならなければ、答えは見つかりません。前述の小柴氏は、『何らかの事象について成果をあげるには、準備をしていなければいけない』とおっしゃっています。ある事象を考えるには、それまでの経験や知識、理論、実験実習、シミュレーション、関係のないように見えるけれど人とのつながりなどの中から産まれるということなのでしょう。 - 地学は自然科学の基本をなす1分野です。科学を学ぶのですから、対策プリントの丸暗記などという勉強方法はあり得ません。観測結果から、なぜそのようになるのかを考えることが大切になります。
--

令和5年度 保健体育科 「体育」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A～G組 男女
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）

1 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4		オリエンテーション	体育学習の意義や内容、評価について理解する。	行動観察 学習カード
		H「体育理論」	1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術	運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることを理解する。 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていること。	
		A「体づくり運動」	(1) 体ほぐし運動	・体ほぐし運動の意義について理解する。 ・ペアストレッチ	
	5	E「球技」	ア ゴール型 バスケットボール	・ルールについて理解する。 ・ピボット、ドリブル ・チェストパス、バウンドパス ・レイアップ、セット、ジャンプシュート ・ゲーム（2対2、3対3、4対4、5対5） ・作戦を立てたり工夫したりすることの楽しさを味わう。	行動観察 学習カード スキルテスト
	6	E「球技」	イ ネット型 テニス	・ルールについて理解する。 ・ボールリフティング（表裏・フレーム） ・地面置きからボールバウンド ・足とボールで挟んで高く飛ばす ・ボレー ・ワンバウンドラリー ・サーブ ・ストローク ・簡易ゲーム	行動観察 学習カード 記録測定
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	H「体育理論」	3 オリンピックとパラリンピックの意義 4 スポーツが経済に及ぼす効果	・オリンピックの意義と役割 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることについて理解する。	行動観察 学習カード
		A「体づくり運動」	(1) 実生活に生かす運動の計画	・パワー系トレーニング（腕立て伏せ、腹筋、背筋、馬跳び）	

第2学期	10	E「球技」	イ ネット型卓球	・ルールについて理解する。 ・ラリーを続ける事の楽しさや、協力してプレーすることの喜びを味わう。 ・フォアハンド、バックハンド ・ボレー、サーブ、スマッシュ ・ゲーム（シングルス、ダブルス） ・相手の動きや打球に対応しゲームをできるようにする。	行動観察 学習カード スキルテスト
		E「球技」	イ ネット型バドミントン	・ドライブ ・ドロップ ・ヘアピン ・ロブ ・サーブ ・簡易ゲーム（シングルス、ダブルス）	行動観察 学習カード スキルテスト
	11	E「球技」	ア ゴール型サッカー	・ルールについて理解する。 ・インサイドパス ・ドリブル ・リフティング（インステップ・インサイド） ・簡易ゲーム ・ゲーム	行動観察 学習カード スキルテスト
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	H「体育理論」	5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境	・ドーピング問題について理解する。 スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることについて理解する。	行動観察 学習カード
		A「体づくり運動」	(2)実生活に生かす運動の計画	・体力を高めることの重要性について理解する。	行動観察
	2	C「陸上競技」 ア 競走	(2)長距離走	・自己に適したペースで走り続ける ・足の運び方について ・腕の振り方について ・呼吸法について	行動観察 学習カード スキルテスト
	3				

3 評価の観点

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた 技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

4 評価の方法

主体的に学習に取り組む態度については、授業参加への意欲・行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。 思考・判断・表現については、授業での行動観察。学習カードの記載内容からの読み取り。 知識・技能については、授業への参加の仕方や態度の観察（ゲーム時のルール理解）。学習カードやスキルテストからの読み取り。 以上、3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

①授業開始時刻、服装、授業規律、整列体系などをしっかりと守り行動しましょう。（集団行動） ②得意・不得意、上手いか下手かよりも、授業を通して「<u>どれだけ成長したか</u>」が大切です。全力で取り組むことはもちろん、上手な人のマネをすることや、自分の課題を考え、工夫して授業に取り組みましょう。 ③生涯を通じて好きなスポーツに巡り合えるように、運動の仕方は勿論のこと、競技会や記録会の企画・運営の仕方、仲間の応援など基本的な事項も身に付けることができるような授業を行います。 ④命に係わる授業になります。危険から身を守るためのルールや、感染症対策など、先生の指示をよく聞き、徹底するようにしましょう。

令和5年度 保健体育科 「保健」 シラバス

単位数	1単位	学科・学年・学級	普通科・2学年・A～G組
教科書	現代高等保健体育（大修館）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）

1 学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための脂質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	1単元 現代社会と健康	オリエンテーション	保健学習の意義や内容、評価について理解する。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			1. ライフステージと健康	ライフステージと健康の関連について理解する。	
			2. 思春期と健康	思春期における体の変化、心の発達にかかわって起こる問題について理解する。	
	5		3. 性意識と性行動の選択	性情報が性行動の選択に及ぼす影響について理解する。	
	6		4. 妊娠・出産と健康	妊娠・出産の過程における健康課題について理解する。また、妊娠・出産に活用できる母子保健サービスについて理解する。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			5. 避妊法と人工妊娠中絶	家族計画の意義と適切な避妊法について理解する。人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解する。	
			6. 結婚生活と健康	心身の発達と結婚生活の関係について理解する。結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について理解する。	
	7		7. 中高年層と健康	高齢社会に必要な社会的な取り組みについて理解する。	
第2学期			期末考査	※授業で使用する保健ノートや授業プリントを整理し、提出する。	
	9	(4) 健康を支える環境づくり	8. 働くことと健康	働くことの意義と健康とのかかわりについて理解する。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			9. 労働災害と健康	労働災害の種類とその原因、防止策について理解する。	
			10. 健康的な職業生活	職場がおこなう健康に関する取り組みについて理解する。余暇を積極的にとることの意義について理解する。	
	10		1. 大気汚染と健康	大気汚染の原因と健康への影響について理解する。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			2. 水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚染、土壌汚染の原因と健康影響について理解する。	
	11		3. 環境と健康にかかわる対策	環境汚染による健康被害を防ぐ方法について理解する。産業廃棄物の処理について理解する。	
			4. ごみの処理と上下水道の整備	ごみの処理の現状やその課題について理解する。上下水道のしくみと健康にかかわる課題について理解する。	
			5. 食品の安全性	食品の安全性と健康のかかわりについて理解する。食品の安全性に関する今日の課題について理解する。	
	12		期末考査	※授業で使用する保健ノートや授業プリントを整理し、提出する。	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1		6. 食品衛生にかかわる活動	食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について理解する。	行動観察 保健ノート分析 授業プリント分析 テスト
			7. 保健サービスとその活用	保健行政の役割について理解する。 保健サービスの活用について理解する。	
			8. 医療サービスとその活用	わが国における医療保険のしくみについて理解する。	
	2		9. 医薬品の制度とその活用	医薬品の安全性を守る取り組みについて理解する。	
			10. さまざまな保健活動や社会的対策	国際機関・民間機関などの保健活動について理解する。 行政機関による社会的対策について理解する。	
			11. 健康に関する環境づくりと社会参加	健康の保持増進のための環境づくりについて理解する。	
			学年末考査	※授業で使用する保健ノートや授業プリントを整理し、提出する	

3 評価の観点

知識・技能	生涯を通ずる健康、健康を支える環境づくりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解するとともに、心肺蘇生法等を実施できる。
思考・判断・表現	生涯を通ずる健康、健康を支える環境づくり、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通ずる健康、健康を支える環境づくり、主体的にねばり強く学習に取り組もうとしている。

4 評価の方法

主体的に学習に取り組む態度については、授業参加への意欲・行動観察。保健ノート、授業プリント記載内容からの読み取り。 思考・判断・表現については、授業での行動観察。保健ノート、授業プリントの記載内容からの読み取り。 知識・技能については、学期ごとの考査点。スキルテスト。保健ノート、授業プリントの記載内容からの読み取り。 以上、3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

「保健」という科目は、「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間の授業が行われます。健康問題がSNSなどのネットをはじめ、TV新聞等で様々な媒体で多くの情報が氾濫する世の中で、正しい情報を取り入れ適切な生活行動を選択できるようになることが求められています。 「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、日常生活の中の課題を見つけ出し、解決の方法を導き出すことができるような授業を展開します。<u>習ったことを実生活で取り入れていく</u>のも記憶に残りやすく、<u>定期考査</u>に向けて効率的な勉強法になるかもしれません。 「保健」は必修科目のため、欠席が多いと法律によって進級ができなくなります（欠時オーバー）。また、週1時間しかないため、あっという間に「欠時オーバー」になりやすいです。学期に1回しかないテストで点数をとること、提出物を遅れず出すこと、<u>板書</u>だけでなく先生の言葉もノートにメモするなど、<u>まんべんなく</u>がんばりましょう。積極的な参加が好成績につながります。
--

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年 A～G組
教科書	ON! 2 (音楽之友社)	副教材等	

1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	発声	発声法	・正しい発声法、呼吸法を習得する。	観察・聴取
		歌唱	外国の曲 「帰れ、ソレントへ」	・音程、リズムを正しく表現できるようにする。 ・歌詞の内容を理解して表現を工夫する。	観察・聴取
	5	表現	「Don't Mind」	・ボディ・パーカッションを用いて表現できるようにする。	観察・聴取
		器楽	リコーダー	・アーティキュレーションの基礎を学ぶ。	音程・リズム・運指
	6	器楽テスト	リコーダー	・アーティキュレーションの楽曲を演奏する。	音程・リズム・運指
		歌唱テスト	外国の曲 「帰れ、ソレントへ」	・グループを作り、グループごとに暗譜で発表する。	小テスト 演奏発表
	7	表現テスト	「You can do it!」	・ボディ・パーカッションを用い、グループごとにリズムを創作し発表する。	小テスト 演奏発表
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	歌唱	沖縄の曲 「涙そうそう」	・修学旅行で訪れ沖縄特有の音楽を学ぶ。 ・二部合唱で表現する。	観察・聴取
		器楽	リコーダー	・アルト・リコーダーを用いてグレード・テストを行う。	観察・聴取
	10	鑑賞	オペラ 「カルメン」	・まずは難易度の低いグレードAからスタートし、合格する毎に次の難易度の楽曲へと挑戦していく。 ・DVDを用いてオペラの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	課題進捗状況 観察・聴取 ワークシート
	11	鑑賞	ミュージカル 「オズの魔法使い」	・DVDを用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	観察・聴取 ワークシート
	12	歌唱テスト	「涙そうそう」	・演奏会形式で行う。二部合唱で発表する。	実技テスト
		器楽テスト	リコーダー	・リコーダー、グレード・テスト	実技テスト

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	器楽	リコーダー	・グレード・テスト（つづき）	実技テスト
	2	鑑賞	ミュージカル 「サウンド・オブ・ミュージック」	・DVDを用いてミュージカルの鑑賞をする。 ・鑑賞後に感想文を書く。	観察・聴取 ワークシート
	3	器楽テスト	リコーダー	・リコーダー、グレード・テスト	実技テスト

3 評価の観点

知識・技能	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化の知識を深め、身に付けた技術で表現できるようにする。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを思考、判断しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、主体的に授業に参加していく。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

音楽の表現において大切なことは、上手か下手かよりも音楽の一部分になれるかどうかだと思います。 なんとなく覚えて演奏するのではなく、音楽のルール（拍や音の高さなど）も感じましょう。共通のルールの中で友人とアンサンブルすると、より一体感を体験できるでしょう。 音楽には、色々な心が込められています。また、心を込めることもできます。 心のこもった音楽はとても美しいと思いますので、心を大切にしましょう。 楽器や楽譜を大切にしましょう。道具を大切にすることは、よりよい心と繋がっていくと思います。 何かわからないことがあったら、その日のうちに解決しましょう。質問をする、調べる等、色々な方法があると思います。 音楽は実技科目です。その時間を大切に過ごさないという意味がありません。毎時間、みんなで一緒に参加しましょう。
--

単位数	2	学科・学年・学級	普通科・2学年・A～G組
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	●オリエンテーション ●立体表現「ばか面」	○授業の姿勢や注意事項の確認 ○船橋市に伝わる伝統芸能についての学習 ・立体表現実習	・美術Ⅰで学んだことを確認し、深く多様な美術表現を学び美術Ⅱの学習イメージを持つ。 ・船橋法典高校のある船橋市の伝統芸能に注目し、その中で使われる美術に対し興味を持つ。	・授業参加状況 ・ワークシート ・授業参加状況 ・ワークシート
	5		素材研究 試作品製作	・実習を通して面作りに必要な材料の性質や、取扱方法を学ぶ。 ・同じ素材を使用して試作品を作る。	・授業参加状況 ・小作品
	6	●立体表現「ばか面」	○試作品鑑賞 ○課題作品制作	・試作品製作過程での反省点や、表現の工夫を感じ取る。 ・鑑賞での反省を活かして課題作品の制作を行う。	・授業参加状況 ・小作品 ・課題作品
	7	●鑑賞	○作品の鑑賞・作品展示	・制作した作品を鑑賞して、他者の表現や工夫を感じ取り、良さや美しさを見つける。 ・有名作品の鑑賞を通して美術への理解を深め、造形のと工夫、良さや美しさを感じ取る。	・授業参加状況 ・ワークシート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	●版画表現	○身近にある版画製品についての学習 版画を活用した芸術家を知る 版画の構造を知る ・版画実習 印刷体験	・身近にある版画作品について学習し、理解を深める。 ・版画技術を活用した芸術科を知り、版画の持つ良さや美しさ、作家の活動を学ぶ。 ・版画を使用して印刷される構造を知り、自身の制作に見通しを持つ。 ・既存の版画を使用して、印刷体験を行う。	・授業参加状況 ・ワークシート
	10		○課題作品制作 アイディアスケッチ 版画制作 試印刷	・座学や実習での体験を活かして、課題作品制作を行う。	・実習作品

第2学期	11	●版画表現	○課題作品制作	・座学や実習での体験を活かして、課題作品制作を行う。	・授業参加状況 ・課題作品
	12	●鑑賞	○作品の鑑賞・作品展示	・制作した作品を鑑賞して、他者の表現や構成の工夫を感じ取り、良さや美しさを見つける。 ・有名作品の鑑賞を通して美術への理解を深め、作品の構成や工夫、良さや美しさを感じ取る。	・授業参加状況 ・ワークシート
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	●平面表現	○平面表現 「点描」の学習	・表現の幅を広げるために、「点描」について学習して、今後の表現活動に興味を持つ。 ・「点描」についての表現方法を知り、有名作品を鑑賞して、自身の作品の計画を立てる。	・授業参加状況
	2		・様々な画材での表現 ○課題作品制作	・表現素材の違いによる、見え方、感じ方の違いを知る。 ・学習した内容を活用して課題作品制作を行う。	・ワークシート
	3	●鑑賞	○作品の鑑賞・作品展示	・制作した作品を鑑賞して、表現の工夫や作品に込めた思いを感じ取り、良さや美しさを見つけろ	・課題作品

3 評価の観点

知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点に基づいて総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

・授業に出席、参加することが大切です。実技教科のため授業参加状況が重視されるため、できるだけ出席しましょう。 ・ただ課題を提出するのではなく、取り組む態度や計画通りに制作を進めること、また後片付けも評価の対象になります。 ・上手下手にとらわれず、丁寧に心のこもった作品制作を心がけましょう。作品完成も大切ですが、制作の中で何を考え何を感じたかも重要です。

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・2学年・A～G組
教科書	光村図書「書Ⅱ」	副教材等	

1 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	書体と書風の変 篆書の学習	復習＋α 泰山刻石 甲骨文 小臣觶犧尊	書体がどのように今の形へと変わったのか改めて復習 篆書の特徴・成立を時代の背景とともに把握させる。 篆書が私たちの書いている漢字の根源ともいえることを理解させる。	興味・関心、ワークシー 興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
		篆刻の学習	用具・用材 印稿・制作	印を作るにあたって必要な材料の名前を理解する。 印を自分の名前で1つ作り、印稿を作成。 彫るにあたって運刀の仕方、注意事項を把握してもらう。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	5	隸書の学習	曹全碑 乙瑛碑	隸書の特徴・性質を今まで習った書体との違いを感じながら理解する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	6		居延漢簡		興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	7	一学期まとめ	小テスト	1学期に勉強した古典の中から好きな古典を選択し、臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞 小テスト
第2学期	9	草書の学習	書譜 十七帖	1年次で勉強した草書と比較してどのような書風かを捉えて臨書させる	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
		仮名の学習	三色紙（寸松庵色紙・升色紙・継色紙）	仮名が日本独自の文化であることを草書の崩し方をもとにして日本人が考えたものだとして日本の歴史から理解させる。三色紙による紙面構成・余白の美を感じてもらう。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	10	行書の学習	蜀素帖 祭姪文稿	1年次で勉強した行書と比較してどのような書風かを捉えて臨書させる	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	楷書の学習	張猛龍碑	1年次で勉強した楷書と比較してどのような書風か	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	12	明清朝の書の学	2学期まとめ小テスト	書風が大きく変化した明清朝の書を学び、芸術というものについて改めて感じさせる。明清朝では欠かせない碑学派と帖学派について学ぶ。碑学派か帖学派どちらかの作品を選択し半紙に臨書する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞 小テスト
第3学期	1	明清朝の書の学	明清朝の書の学習	2学期末に書いた半紙を元に半切に展開する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	2	漢字かな交じり	用具・用材の工夫	自分のお気に入りの詩や歌詞を選択し、今まで勉強してきた臨書作品をベースとし、漢字を決める。その漢字に合わせた平仮名を上手く組み合わせた作品を制作する。	興味・関心 ワークシート 提出作品 鑑賞
	3				

3 評価の観点

知識・技能	書を表現するために必要な技能を身に付け、多様な表現を自分の意図したまますることができているか。
思考・判断・表現	書活動をする中で発想や感性から構想し、最終的な自分自身の課題を捉えることができているか。 また書の伝統文化を理解し、書を芸術という観点から捉え考察することができているか。
主体的に学習に取り組む態度	書道の伝統性や表現方法の多様さに興味・関心を持ち、積極的に書活動へ取り組もうとしているか。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

書道は、古来から続く日本の伝統文化であり人格の完成に必要な不可欠な創造力を養うことができます。沢山の古典作品を主体的に鑑賞することにより発想力や表現方法を豊かなものにします。また発想を自分の力で制作することで力の可能性を広げることができます。時間厳守や作品提出期限厳守、道具を大切に扱うなどのモラルを徹底するようにします。授業中は私語を慎み、集中して作品制作に努めるようにします。
--

令和5年度 外国語科「英語コミュニケーションⅡ」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 2年 A組～G組
教科書	VISTA English Communication Ⅱ (三省堂)	副教材等	VISTA Workbook (三省堂)、チャンクで英単語Standard (三省堂) エースクラウン英和辞典 (三省堂)

1 学習の到達目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

(1) 聞くこと
日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。

(2) 読むこと
日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。

(3) 話すこと【やりとり】
日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

(4) 話すこと【発表】
日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと
日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

2 学習の計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価 の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	世界のダンスについて「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、パフォーマンスに込められている思いを理解し考えを深め、「話すこと(やりとり)」ができる。	Lesson1 World Dance Performances	・動詞＋to不定詞、疑問詞＋to不定詞を学ぶ ・[L]世界のダンスについての概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]世界のダンスについての紹介文を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[Sや]パフォーマンスについて、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う	知	○	○	○		○	12	活動の観察 ワークシート
				思	○	○	○		○		
				態	○	○	○		○		
5	英語と日本語の慣用句について「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、慣用句について理解し考えを深め、「話すこと(やりとり)」ができる。	Lesson2 A Piece of Cake	・when (if) +主語＋動詞を学ぶ ・[L]慣用句についての概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]慣用句についての対話を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[Sや]慣用句について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う	知	○	○	○		○	12	活動の観察 ワークシート
				思	○	○	○		○		
				態	○	○	○		○		
5	迷信について「聞くこと」を通じて学び、迷信についてのアンケートやメッセージを完成させ、ペアで「話すこと(発表)」ができる。	Challenge Yourself!	・[L]迷信についての説明から、概要や要点、詳細を聞き取る ・[S発]迷信についてのアンケートやメッセージを完成させ、友だちに伝える	知	○			○		6	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート
				思	○			○			
				態	○			○			
中間 考 査		中間考査		知		○			○	4	リーディング力を評価 する複合問題 ライティング力を評価 する複合問題
思					○			○			
態											
6	クオッカについて、「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、クオッカの抱える問題を理解し考えを深め、「話すこと(やりとり)」ができる。	Lesson 3 Quokka	・使役動詞や知覚動詞を学ぶ ・[L]クオッカについて、概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]クオッカについての対話を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[Sや]クオッカの抱える問題について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考にグループで調べ、まとめたことを話して伝え合う	知	○	○	○		○	12	活動の観察 ワークシート
				思	○	○	○		○		
				態	○	○	○		○		
6	入国審査の場面で使われる表現を「聞くこと」を通じて学び、空港での場面を想定しながらペアで「話すこと(やりとり)」ができる。	Enjoy Communication	・[L]入国審査の場面で使われる表現を聞き取る ・[Sや]空港での場面を想定しながら、多様な語句や文を用いて、質問したり、答えたりする	知	○		○			6	活動の観察
				思	○		○				
				態	○		○				
7	切手デザインの仕事の魅力を「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、世界を楽しませることについて「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」ができる。	Lesson 4 Designig Stamps	・形式主語(目的語)“it”を学ぶ ・[L]切手デザイナーについて、概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]切手デザイナーについての対話を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[S発]切手デザインの仕事について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを発表する	知	○	○	○	○	○	15	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート
				思	○	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○	○		
7	日本の切手について「書くこと」を通じて学び、日本の切手についての紹介文を完成させ、「書くこと」ができる。	Challenge Yourself!	・[W]日本の切手デザインについて、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを書く	知					○	3	活動の観察
				思					○		
				態					○		
期 末 考 査		期末考査		知		○			○	4	リーディング力を評価 する複合問題 ライティング力を評価 する複合問題
思					○			○			
態											

9	モン・サン・ミシェルや日本の世界遺産について「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、人気の世界遺産について理解し考えを深め、「話すこと(やりとり)」ができる。	Lesson 5 Mont-Saint-Michel	・現在完了進行形、過去完了形を学ぶ ・[L]モン・サン・ミシェルについて、概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]モン・サン・ミシェルについての発表を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[Sや]世界遺産について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う	知	○	○	○	○	12	活動の観察 ワークシート
				思	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○		
	世界遺産について「書くこと」を通じて学び、世界遺産についての紹介文を完成させ、「書くこと」ができる。	Challenge Yourself!	・[W]世界遺産について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを書く	知				○	3	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート
				思				○		
				態				○		
10	スマート農業について「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、人の役に立つ科学技術について理解し考えを深め、「話すこと(やりとり)」ができる。	Lesson 6 Smart Agriculture	・現在完了形受動態、助動詞＋受け身を学ぶ ・[L]スマート農業についての概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]スマート農業についての発表を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[Sや]科学技術について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う	知	○	○	○	○	12	活動の観察 ワークシート
				思	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○		
	科学技術について「書くこと」を通じて学び、科学技術についてのポスターを完成させ、「話すこと(発表)」ができる。	Challenge Yourself!	・[W]科学技術についてのポスターを完成させる ・[S発]科学技術について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えを発表することができる	知				○	6	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート
				思				○		
				態				○		
中間 考 査	中間考査			知		○		○	4	リーディング力を評価 する複合問題 ライティング力を評価 する複合問題
				思		○		○		
				態						
11	競技カルタについて「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、日本文化について理解し考えを深め、「話すこと(やりとり)」ができる。	Lesson 7 Martial Art on Tatami	・関係代名詞の非制限用法を学ぶ ・関係代名詞whatを学ぶ ・[L]競技カルタについての概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]競技カルタについての発表を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[Sや]日本文化について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う	知	○	○	○	○	12	活動の観察 ワークシート
				思	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○		
12	まんが/アニメについて「読むこと」を通じて学び、まんが/アニメが人気の理由や根拠を明確にして「書くこと」ができる。	Challenge Yourself!	・[R]記事を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[W]記事に書かれている理由をもとに、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、まんが/アニメが人気の理由や根拠を書く	知		○		○	6	活動の観察 ワークシート パフォーマンステスト
				思		○		○		
				態		○		○		
	切符購入の場で使われる表現を「聞くこと」を通じて学び、駅での場面を想定しながらペアで「話すこと(やりとり)」ができる。	Enjoy Communication	・[L]切符購入の場で使われる表現を聞き取る ・[Sや]駅での場面を想定しながら、基本的な語句や文を用いて、質問したり、答えたりする	知	○	○			6	活動の観察 ワークシート
				思	○	○				
				態	○	○				
期 末 考 査	期末考査			知		○		○	4	リーディング力を評価 する複合問題 ライティング力を評価 する複合問題
				思		○		○		
				態						
1	バイオロギングについて「聞くこと」「読むこと」を通じて学び、海の動物たちの行動や生態について理解し考えを深め、「話すこと(やりとり)」ができる。	Lesson 8 Biologging	・分詞構文、強調構文を学ぶ ・[L]バイオロギングについての概要や要点、必要な情報を聞き取る ・[R]バイオロギングについての発表を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[Sや]海の動物たちの行動や生態について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して伝え合う	知	○	○	○	○	12	活動の観察 ワークシート
				思	○	○	○	○		
				態	○	○	○	○		
	ブログについて「読むこと」を通じて学び、ブログに対するコメントを「書くこと」ができる。	Challenge Yourself!	・[R]ブログを読み、概要や要点、詳細を把握する ・[W]ブログについて、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に情報や考えをコメントする	知		○		○	6	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート
				思		○		○		
				態		○		○		
2	病院での場で使われる表現を「聞くこと」を通じて学び、医者との会話を想定しながらペアで「話すこと(やりとり)」ができる。	Enjoy Communication	・[L]病院での場で使われる表現を聞き取る ・[Sや]病院での場面を想定しながら、多様な語句や文を用いて、質問したり、説明したりする	知	○	○			6	活動の観察 ワークシート
				思	○	○				
				態	○	○				
	偉人の名言について「読むこと」を通じて学び、自分の好きな偉人の名言を暗唱すること(「話すこと(発表)」)ができる。	Take a Break!	・[R]偉人の名言を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[S発]偉人の名言を暗唱する	知		○	○	○	9	活動の観察 パフォーマンステスト ワークシート
				思		○	○	○		
				態		○	○	○		
3	“The Open Window”か“The Christmas Truce”を「読むこと」を通じて学び、その概要を「話すこと(発表)」ができる。	Enjoy Reading! -1.2	・[R]物語を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[S発]読んだ物語について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に概要を発表する	知		○	○		6	活動の観察 ワークシート
				思		○	○			
				態		○	○			
	“My dream”か“The Restaurant of Many Orders”を「読むこと」を通じて学び、その概要を「話すこと(発表)」ができる。	Enjoy Reading! -3.4	・[R]物語を読み、概要や要点、詳細を把握する ・[S発]読んだ物語について、多様な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に概要を発表する	知		○	○		6	活動の観察 ワークシート
				思		○	○			
				態		○	○			
	学年末考査			知		○		○	4	リーディング力を評価 する複合問題 ライティング力を評価 する複合問題
				思		○		○		
				態						

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、伝え合う技能を身に付けている。	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、話す技能を身に付けている。	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、書く技能を身に付けている。
思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話の展開や話し手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめている。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を読んで、情報や考えなどの概要や要点、詳細、文章の展開や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめている。	日常的な話題や社会的な話題について、伝え合う内容を整理し、要点や意図などを明確にしながらか英語で話し、情報や自分自身の考えなどを詳しく伝え合っている。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら英語で話し、情報や自分自身の考えなどを適切に表現している。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら英語で書き、情報や自分自身の考えなどを適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	ア. 日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。 イ. 社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。	ア. 日常的な話題について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握しようとしている。 イ. 社会的な話題について、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えようとしている。	ア. 日常的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けようとしている。 イ. 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合おうとしている。	ア. 日常的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。 イ. 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えようとしている。	ア. 日常的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章を詳しく書いて伝えようとしている。 イ. 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章を詳しく書いて伝えようとしている。
評価の方法		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域において、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。			
担当者からのメッセージ		「担当者による。」			

令和5年度 家庭 「家庭総合」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2学年 A組～G組
教科書	家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）	副教材等	資料集 生活学Navi（実教出版）

1 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	家庭科の学び方		・家庭総合の学習方法や評価の観点について学ぶ。	ワークシート 発言内容
	5	第6章 食生活をつくる	①食生活の課題について考える	・日常の食生活を振り返り、食生活の変化や課題について理解する。	ワークシート 発言内容
			②食事と栄養・食品	栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。	ワークシート 発言内容
			③食生活の選択と安全	・食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を理解する。	ワークシート 発言内容
			④調理の基礎	・調理実習を通して、食生活の自立に必要な基礎的な調理の知識と技術を身につける。	ワークシート 行動観察 発言内容
第2学期	6	第3章 子どもと共に育つ	①子どもとの触れ合いから学ぶ	・読み聞かせ体験を通して、子どもや子育てに対する理解を深める。	ワークシート 行動観察 発言内容
	7		期末考査	【食生活をつくる】 【子どもと共に育つ】	
	9	第3章 子どもと共に育つ	②命を育む	・出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を理解する。 ・乳幼児の身体的特徴と発達の過程、心身の発達の特徴を理解する。	ワークシート 発言内容
	10		③子どもの育つ力を知る	・遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について考える。	ワークシート 発言内容
	11		④子どもと関わる	・子どもとのふれ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。	ワークシート 発言内容
			⑤これからの保育環境	・子どもを取り巻く社会変化の現状について理解し、考える。	ワークシート 発言内容
	12	第6章 食生活をつくる	④調理の基礎	・調理実習を通して、食生活の自立に必要な基礎的な調理の知識と技術を身につける。	ワークシート 行動観察 発言内容
			期末考査	【食生活をつくる】 【子どもと共に育つ】	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第3章 子どもと共に育つ	⑤これからの保育環境	・子どもの権利と福祉や児童虐待について考える。	ワークシート 発言内容
	2	第6章 食生活をつくる	⑤食生活の文化と知恵	・日本や地域の食文化を見直し、食文化の継承について考える。	ワークシート 発言内容
			⑥生涯の健康を見通した食事計画	・青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特質を理解する。	ワークシート 発言内容
			⑦これからの食生活	・食生活の自立に必要な基本的な調理技術を科学的な視点から学び、日常食を作れるようになるよう実習する。	ワークシート 行動観察 発言内容
			学年末考査	【食生活をつくる】 【子どもと共に育つ】	

3 評価の観点

知識・技能	生活を主体的に営むために必要な食生活や保育などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的な学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

家庭総合では、皆さんの生活すべてのことを教材として扱います。日頃から家庭の仕事に積極的にに関わり、自分でできることは自分でするように心がけてください。積極的に授業や実習に参加し、そこで得た知識や技術を日常生活で生かし、より主体的な高校生活が送れることを期待しています。

[注意事項]

- (1) 学習内容によって、移動教室があります。事前の連絡に注意し、遅刻しないように集合してください。
- (2) 提出物の期限は必ず守ってください。
- (3) 実習の際に必要な道具を忘れた場合には大きく減点をしますので注意してください。
- (4) 大きな事故につながる場合がありますので、実習用具の取り扱いには注意してください。